

平成 30 年度事業報告書

もくじ

	ページ
はじめに	1
1 児童の処遇	2
(1) 入所児童数	2
(2) 月別保育日数	2
(3) 健康管理	2
(4) 各クラスの保育報告	3
(5) 実施行事	3
(6) 食事	4
(7) 安全管理	5
(8) 保護者に向けて	6
2 職員の処遇	6
(1) 移動	6
(2) 健康管理・福利厚生	6
(3) 職員会議	6
(4) 研修	7
3 施設管理	8
4 特別保育事業	9
5 理事会	9

はじめに

あずさわ保育園が NPO 法人たっちの運営になって丸 3 年、国の制度の「地域型小規模保育園」に位置づけられて丸 4 年が経ちました。

昨年度は理事長が退任し、新しい理事長が選任されるという、法人にとって大きな変化があった一年でした。

これまで前理事長が行ってきた財政面をはじめ、多岐にわたる法人運営の一つひとつを、これまで築いてきた歩みを後退させないように、役員で協力しあいながら手探りで進めてきました。その中でも、少しでも職員の処遇の改善に繋がるようにと「借り上げ住宅制度」を導入し、板橋区の補助金を受けられるように仕組みを整備したり、職員との懇談会を実現させたり、幾つかの新しい取り組みも行ってきました。今後は、これまで大切にしてきた歩みを大事に守りつつ、多くの人と繋がりながら、更に発展していきけるよう頑張ります。

保育園内では、保育内容や給食について、それから保育園の運営面全般について、職員間で様々な議論をしながら考え合ってきた 1 年間でした。結論が出ないことも、意見がまとまらないこともありましたが、この積み重ねを大事にしたいと思います。

また、職員会議の中で、研修報告集を使って、研修で学んだことの報告会を行ってきました。他の職員の報告から学ぶことが出来ただけでなく、自分で報告することによって、自分が受けた研修の内容を振り返り、学び直す機会になりました。

また、昨年度設置した「掲示板」を年度初めより本格的に活用したことで、保育園の周知に繋がったこと、それから、地域の子育て世帯を対象に「保育園体験」の場を数回持ち、とても喜んでいただけことなど、地域に根差した保育園づくりを具体的に広げることが出来ました。次年度は、今年度の経験を生かして、年間を通して「保育園体験会」や「育児体験」を色々な形で計画していきたいと思います。

一昨年度に引き続き、昨年度も幾つかの備品の購入や入れ替え、また、遊具の充実を実現させることが出来ました。

給食室では、ガスレンジの入れ替えを行い、保育室では、壁掛け扇風機の買い替えをし、設置台数も増やしました。

また、一昨年度からの懸案事項であった「園名プレート」の設置を実現させました。一昨年度に設置した掲示板と合わせて、外から見た保育園の印象をぐっとよくすることができました。

2019年度は、保育園設立50年の節目でもありました。この節目に、在園卒園保護者の方や地域の方とあずさわ保育園の良さや課題を話し合い、認識を深め合う場を持ちながら、より良い保育園を目指していきます。山積みの課題にきちんと向き合い改善させつつも、これまでの歩みやあり方に自信と誇りを持ち、今後も更なる発展と改善を目指して歩んでいきたいと考えます。

1 児童の処遇

(1) 入所児童数

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
1歳児	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
2歳児	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	6	6	6
合計	19	19	19	18	18	18	19	19	19	19	18	18	18

(1月から2歳児に欠員が出て、充足しなかった。年間入所児童のべ 225名)

(2) 月別保育日数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日数	24	24	26	25	26	23	26	24	23	23	23	25

年間保育日数 292日 (但し土曜保育の実績がなかった日数が内3日)

(3) 健康管理

次の点に留意して取り組んできた。

①日常養護・健康管理

温湿度や衣服の調整を細やかに行い、また室内の換気や水分補給も頻回に行い、児童の健康維持に心がけた。

②病気の予防と早期発見

児童に日常的に丁寧に関わる中で、職員との信頼関係も良好にし、ちょっとした体調の変化に速やかに気づくことが出来るように心がけた。

また毎朝の視診を丁寧に行い、保護者から家庭での児童の様子を細かく確認した。必要に応じて、戸外遊び時の配慮や給食の内容など、柔軟な対応もするとともに、その時々保育園内で発生している感染症やその主な症状や留意事項などを、掲示板等に貼りだすとともに、登降園時直接お話しするなどして保護者への注意を促した。

③安全と事故防止

室内外の危険個所の点検と整備を日常的に行った。

防火管理責任者の指揮もと、毎月避難訓練を行った。様々な時間帯に行うという計画のもと、職員が少なくなる夕方にも数回行った。

不審者訓練を年3回行い、うち1回は、志村警察署スクールサポーターの方に立ち会いを受け、その後訓練の評価と助言を受けた。2歳児クラスは「安全」についてのお話を聞いた。

④健康増進と保健指導

何でも美味しく食べられるような給食と、食育に心がけた。

きちんと衣服を整える、鼻水が出たら鼻をかむ（職員に訴える）などの習慣が身につくように日常的に職員が細やかに身の世話をし、指導を行った。戸外を歩くときのルールを日常的に指導した。

⑤環境衛生

温湿度の管理や室内、および調理室等の衛生管理に心がけた。午後の清掃消毒担当を決め、遊具の清掃と消毒、床以外の室内備品等の清掃の頻度を増やせるよう体制強化にも心掛けた。冬期、暖房を使用する時期に室内が乾燥するのを防ぐために、加湿器に加えて、濡れタオルを室内に設置したり、スプレーでの噴射を行うなどの工夫を行ったが、大きな効果が得られにくかった。今後検討が必要である。

年間実施保健行事

保健行事	対象年齢
内科健診	0歳児組(月1回)、1・2歳児組(年2回)
身体測定	全園児(月1回)

(4) 各クラスの保育報告

①つばめ組（2歳児）の保育報告

以下の保育目標のもと、一年間保育を行った。

【保育目標】

一人ひとりが安心して園生活をおくり、十分に自己発揮できるようにする
保育者との安定した関わりを通して、基本的な生活習慣の自立を目指し、身のまわりのことを自分でしようとする気持ちをもつ

保育者の仲立ちにより、友だちと関わって遊ぶ楽しさを知る

自分の思いを言葉や行動で表現できるようになる

葛藤体験を味わいながら、少しずつ気持ちのコントロールができるようになる。

年度当初、新入児2人に対して進級児がとても警戒し「きらい」「あっちにいて」などの言葉とともに拒否する姿が多く見られた。子どもの素直な姿だととらえつつ、それに傷つく子がいることは伝えようと、「そんなことを言われたら悲しい気持ちになる。好きって言われたら元気が出る。」ことを全体に投げかけ、真剣に話しをした。それ以降、「きらい」などの言葉はなくなったが、ここがこのクラスの出発点だと思い、どうしたら子ども同士が楽しい関わりを持ち、関係性を広げていけるようになるのかを探りながらクラス運営を行ってきた。

「自分の遊びを充実させてこそ、誰かと一緒に遊びを楽しめる」、また、「自分が大事にされているからこそ、誰かを受け入れることが出来る」という思いのもと、

- ・個々の遊びを丁寧につくること、
- ・遊びが楽しかったと思える満足感を持てること、
- ・一人ひとりが保育者から大事にされている実感が持てること

を柱に、保育を積み重ねてきた。

前期からの「見立てつもり遊び」がさらに充実するようにし、その中で子ども同士の関わりが拡充し、集団での遊びも楽しめるように関わってきた。

友だちとの関わりの方では、後期は、小集団でのメリット、デメリットをしっかりとらえて子ども達と関わるようにしつつ、個々に合わせて試行錯誤しながら関わってきた。個々の遊びが育ったことで、集団で一緒に遊ぼう、何かをやろう、などの仲間を受け入れる気持ち等々、しっかり育ち、みんなで遊ぶ姿も見られるようになってきた。

子どもたちが張り切れる活動、その時々姿に見合った活動を模索中、お店屋さんごっこやクッキング保育、当番活動を取り入れて実践してきた。

また、戸外遊びでは、自然物でのごっこ遊びや、虫取り網での虫取りをたっぷり行い、一緒に捕まえたカニや青虫を飼育してきた。また、ヒヤシンスの球根を保育室に置き、その成長を見て日々変化や発見を楽しんだ。青虫が蝶になったり、お芋だと思っていた球根から花が咲いた姿を不思議がったり驚いたりする中、好奇心の芽を育てる環境づくりも工夫してきた。保育室がクラスごとに独立していない限られた空間の中で、クラスの活動の時間を確保しつつ、ゆとりを持って生活する環境を探りながら創ってきた。年間を通して、生活がわかりやすい環境、遊びを楽しめる環境にこころがけ、同じ生活の流れを維持すること、同じ生活の繰り返しを大事にすることを実践した。

②あひる組（1歳児）の保育報告

以下の保育目標のもと、一年間保育を行った。

【保育目標】

適切な環境により運動機能や言葉を獲得する。

保育者に援助されながら生活習慣（食事・睡眠・排泄・着脱）を身につける。

安心できる保育者と信頼関係を築きながら、安全な環境の下で、生活や遊びに取り組む探索活動を通して、十分に聞く見る触れるの経験をし、人や、まわりのものへの関心を持つ

感じたことや、身の回りの様々な体験を保育者に伝えようとする。

年度当初、子ども達がそれぞれ抱える戸惑いと不安が、安心や信頼へと変わっていくように、一人ひとりに丁寧に寄り添い、子どもの目線になって日課を過ごすことに配慮してきた。また、家庭から来た新入園児と、進級児とのできることの差があったので、食事の介助や散歩時の配慮、午睡の仕方など、それぞれ個別の配慮や対応を心がけて来た。新入園児は、初めての体験がほとんどだったが、一つひとつを繰り返し丁寧に経験させることで、出来ることが増えていった。

自我が芽生えて拡充していく中、子ども達は1歳半の大きな成長の節目を迎えてきたが、特に年度の前半は、お互いの精一杯の自己主張がぶつかり合うこともよくあり、噛みつきや引っ掻きのトラブルも多々起こった。保護者に大きな心配もかけてしまったことも受け、クラス担任だけでなく他の職員とも連携を図り、一緒に対応策を考えてきた。とにかく未然に防ぐための緊急避難措置として、体制の強化等の対策も取りつつ、根本的には、子どもたち同士のトラブルを発達の一環としてとらえ、その都度的確な対応が出来るように実行してきた。トラブルが起こった時に、子ども達の気持ちを丁寧に受け止め、共感した上で、「〇〇ちゃん痛かったよね」と相手の状況も伝えていくことの大切さを認識して繰り返し実行してきた。心配しているそれぞれの保護者には、仲良くかかわりあって過ごしている場面を伝えることで、少しずつ安心してもらえるようになった。トラブルについてに留まらず、保護者が日々悩んでいること、不安に思っていることを察し、連絡ノートや面談、日常のコミュニケーションを通して、悩みに心を寄せた上で、的確なアドバイスが出来るように心がけてきた。

また、年間を通して、子どもたちがやろうとする気持ちを大切に、行動を禁止する言葉ではなく、子ども達が自ら行動を方向づけできるような言葉をかけることを心掛けてきた。どの子も担任を信頼して身を委ね、その子なりの自己表現も出来るようになった。言葉の獲得と同時に、子ども同士の関わりも増え、ごっこ遊び、見立て遊びも広がりが出来た。楽しそうにうたう歌や踊りにも自信を持ち、毎日の日課のリズムも全身で楽しむことが出来た。

③ひよこ組（0歳児）の保育報告

以下の保育目標のもと、一年間保育を行った。

【保育目標】

それぞれの育ちにあった安定した生活リズムで機嫌よく過ごしながら、健やかな成長を育む。

担任との信頼関係を土台に、主体的に遊んだり感じたりする生活をおくる。

子ども達一人ひとりを愛おしく思い、丁寧に関わってきた。年度の後半から子ども達に自我が芽生え始め、自己主張が盛んになってきたが、一人ひとりの思いを受け止め、気持ちに寄り添うことで、安心して自分を出せるようになっていったと感じている。

年間を通して、子ども達が生き生きと遊びこめ、豊かな発達を保障できるように、その時期に発達に相応しい活動、玩具などの環境整備を模索してきた。

また、赤ちゃん体操は、歩行が安定するまで全員にしっかり行い、歩行が安定して以降は、1. 2歳児クラスのリズムへの参加を実践してきた。赤ちゃん体操やリズムを毎日継続してきた中で、しなやかな身体づくりはもちろん、身体も心もリラックスさせるなど、様々な効果が実感できた。

ただ、年度当初は活動の切り替えや遊びの保障のために、保育室内を家具で仕切っていたが、子ども達の成長に伴って、家具を子ども達が動かしてしまうようになったことで、保育室を仕切らずに使用するようになった。安全面に問題がない仕切り方が工夫できれば、空間を上手く仕切って活用すべきだったと感じている。

健康面においては、様々な配慮を必要とする子どもが多かったが、体調の変化に細心の注意をはらい、細やかに個別対応を行うことで、疾病が重症化することなく過ごすことが出来た。

保護者支援の面でも、連絡事項が伝わりにくかったり、忘れ物などが多くなりがちな保護者に対しての個別配慮が至らなかった部分もあったが、どの保護者とも、それぞれの状況に応じて丁寧に関わり、細やかな対応を心掛けてきた。

(5) 実施行事

月日	行事名
4月1日	入園式
5月2日	子どもの日ランチ
6月5日	1歳児クラス懇談会・おやつ参観
6月7日	2歳児クラス懇談会・おやつ参観
6月12日	0歳児クラス懇談会・おやつ参観
7月6日	七夕・プール開き（スイカわり）
7月14日	夕涼み会
9月1日	全体交流・懇談会（全世帯と職員で交流、おやつの試食）
9月21日	お月見団子クッキング（2歳児）・お月見ランチ
10月4日	2歳児遠足（城北交通公園）
11月木曜日	保育園体験（地域向け子育て支援行事）木曜日 10時から
11月15日	七五三ランチ
12月7日	クリスマス会ランチ・クリスマス会
2月1日	節分のつどい・節分ランチ
3月1日	お雛様ランチ
3月13日	新入園児説明会
3月16日	卒園進級式・お祝い会
3月22日	お別れ園外保育

(6) 食事

①目標『しっかり食べる子』に育てる、を念頭に置き、毎日の心にも体にも美味しい食事に心がけた。

薄味、和風献立を心がけつつ、年度当初は、新入園児が保育園給食に馴染みやすいように、家庭で食べたことのあるような洋食を少し多めに取り入れた給食を提供した。

また、小規模園の良さを最大限に生かし、園児の体調に合わせた献立の変更等、柔軟な対応も行った。

- ・旬の素材を使った献立作りを心がけた。
- ・見た目においしく、食べておいしい食事づくりを行った。
- ・保護者との連携を図るため、給食懇談会の実施、交流会での試食などを実施し、また毎月の献立表と別に、給食だよりも毎月発行した。

②栄養管理

パソコンソフト「わんぱくランチ」により、毎日の献立の栄養計算、保健所への月報の提出（年2回）を行った。また、あずさわ保育園の献立を「わんぱくランチ」に保存した。

③食育

毎月…予定献立表の配布（幼児食・離乳食）を行った。

給食だより…あずさわ保育園の食事の紹介や栄養情報などをまとめ、月1回発行した。
食を考える…0歳児は月1回の担任会議にて子どもの食事の状況、離乳食の移行時期、

献立について話し合い、必要な内容を給食職員に伝えた。また、月1回の職員会議では、給食職員も一緒に、献立についての感想や反省、改善などや提供された食事への感想・反省、改善案などを出し合い、よりおいしい食事作りへ取り組んできた。展示食…玄関に、その日の給食の見本を展示し、保護者から好評だった。年度途中で、展示用ケースを全面透明なものに変えたことで、より見やすくなった。

④衛生管理

衛生チェック表を作成し、毎日衛生項目にそって確認してきた。

調理員の細菌検査（毎月1回）調理室・乳児調理室の掃除、カウンター清掃（毎日）、冷蔵庫消毒、食器洗浄後熱風庫にて保管した。原材料・調理済み食品の保存（2週間）を行った。

⑤栄養給与目標（給食・おやつでとりたい栄養量の目安）をもとに献立を作成し、提供を行った。

⑥離乳食に関して

「離乳の基本」に沿って、個人差を考え、無理のない離乳を進めた。1歳児の食事に関しては、離乳食（完了食）後、6ヶ月間は、おやつの一品に具だくさんの汁物をつけて、栄養の補填をした。

<離乳食の進め方>

食べ易い形で…子どもの状態にふさわしい形で与え、手づかみ食べを十分に促し、しっかり噛める子どもに育つよう進めてきた。

栄養と食品のバランスを考えて…準備期は別として、ある程度進んだら離乳食の中に穀類・タンパク質類・野菜の三種類を合わせ、バランスよく提供してきた。

アレルギーをおこしやすい卵については、保育園では基本的には使用しない献立にし、最初の提供は自宅で行ってもらうようにした。

薄味で…調味料をできるだけ使わず、素材の味を生かして調理した。塩分計の使用を積極的に行うことで、より確実になった。

<アレルギー児対応>

アレルギー児の「食物除去・代替え食」も、それぞれの子どもの症状に対応し、保護者と打ち合わせを行った上で行った。トレーやコップは専用のもを使用し、提供の際に間違いがないように重複したチェック体制をとった。

(7) 安全管理

交通安全教育（毎日のお散歩の中で）を行った。

非常災害時の避難訓練（年12回）を行った。

不審者対応訓練（年2回）を行った。

引き渡し訓練を行った。

4月26日	避難訓練	火災
5月28日	避難訓練	火災
6月21日	避難訓練	火災 地震
7月29日	避難訓練	火災 地震
8月25日	避難訓練	ガス漏れ・火災
9月25日	避難訓練	火災 地震
11月1日	避難訓練	火災
11月22日	大規模地震発生 引き渡し訓練	地震 火災
12月25日	避難訓練	火災 地震
1月28日	避難訓練	火災 地震
3月6日	避難訓練	火災
3月25日	避難訓練	火災 地震
7月23日	不審者訓練	不審者
12月13日	不審者訓練・志村警察署立ち会い	不審者

(8) 保護者にむけて

* 保育参観

保育参観は1年中オープンとし、保護者の参加を受け入れた。クラス懇談会は、前半は懇談、後半は「おやつ」参観とし、クリスマス会は全クラス隠れて参観の後、後半からは一緒に参加とした。

今年度以降はさらに、すべての世帯が1年に1回は保育参観を行うことを目標に、参観をしやすい状況を計画していく予定だが、その前段階として、3月に2歳児保護者が「変装しての保育参観」を先駆け的に行った。誰も「自分のお母さん」「〇〇ちゃんのお母さん」と気が付くことなく朝から午睡までの数時間を一緒に過ごすことが出来、今後に向けて有意義な機会となった。

* 保護者懇談会

年2回予定し、1回目はクラス懇談とおやつ参観

2回目は全園児交流懇談会とし、楽しい時間を提供できた。また、保護者同士の交流が深まるきっかけとすることが出来た。

* お知らせ

- ・園だより毎月1日に発行した。
- ・クラスだより年10回以上発行した。
- ・保健だよりは園便りの中にコーナーを設けて発行した。
- ・献立表（離乳食・幼児）毎月前月末に1回発行した。
- ・給食だより年間12回発行した

2 職員の処遇

(1) 異動

【採用】

なし

【休職】

なし

【退職】

30 年度 3 月 31 日をもって退職した

(2) 健康管理・福利厚生

- ・年 1 回被服費の支給。
- ・忘年会、年度末反省会への費用補助。
- ・健康診断（生活習慣病予防検診） 年 1 回（9 月）
- ・細菌検査 年 12 回（正規職員全員、給食、0 歳児担任、調乳担当者）
- ・インフルエンザ予防接種費用の補助を行った

(3) 職員会議

- ・職員全体会議年間 12 回実施した
 - 年間計画会議 1 回
 - 中間総括会議 1 回
 - 年間総括会議 1 回
 - 月の計画・総括会議 1 回
- ・クラス会議毎月 1 回以上実施した
- ・離乳食会議毎月 6 回（職員会議の中で）実施した
- ・給食会議毎月 1 回（職員会議の中で）実施した
- ・給食担当者打合せを月 1 回実施した
 - ・臨時の打ち合わせ・ミーティングを適宜行った

(4) 研修

下記の研修会に参加した。参加後は、レポート提出とともに、職員会議での報告を行うことで、学んだことを全職員で共有できるように取り組んできた。

<上半期>

職員名	研修会名	期日
	芸術研究所 夏の芸術教育学校「学びを見える化するための記録の生かし方」講師：████████	7月27日
	芸術研究所 夏の芸術教育学校「保育者が身につけたいカウンセリングマインド」講師：████████	8月9日
	芸術研究所 夏の芸術教育学校「多世代で楽しめるわらべうた遊び」講師：████████	8月6日
	芸術研究所 夏の芸術教育学校「子どもが豊かに遊びこめる保育環境づくり」講師：████████	8月7日

芸術研究所 夏の芸術教育学校「3歳未満児の描画遊び入門」講師： ██████████	7月25日
東京経営懇 乳児保育研究会（加算Ⅱ研究要件認定講座） 研究者： ██████████	6月～12月（全6回）
① 乳児保育の意義・歴史	6月13日
② 乳児の発達に応じた保育内容	7月18日
③ 施設見学「世田谷つくしんぼ保育園」へ	9月13日
芸術研究所 夏の芸術教育学校「0歳児からのコミュニケーション実践法」講師： ██████████	7月31日
芸術研究所 夏の芸術教育学校「乳児と楽しむわらべうた遊び」講師： ██████████	8月1日
芸術研究所 夏の芸術教育学校「その場でできる簡単シアター」講師： ██████████	8月8日
芸術研究所 夏の芸術教育学校「ことば遊びと読み聞かせ実践」講師： ██████████	7月24日
芸術研究所 夏の芸術教育学校「子どもの食の課題と食育あそび」講師： ██████████	7月30日
東京保育研究大会分科会「子どもの心と身体の食育活動を考える」	6月13日
東京経営懇 法人研究会 世話人： ██████████（社会福祉法人育和会会長）・ ██████████（社会福祉法人なの花会理事長）	7月～12月（全4回）
① 事業計画・予算について	7月25日
② 社会福祉法人の本部運営について（職員会議のため欠席）	9月19日
東京経営懇 会計講座 講師： ██████████ 「園長が知っておきたい保育所会計」	7月～9月（全3回）
① 公定価格の仕組み	7月24日
② 決算書の見方・読み方	8月28日
③ 経営分析をしてみよう	9月27日
④	

研修会名	期日
乳児保育研究会（東京民間保育経営研究懇話会）	11月14日
食育アレルギー対応研修会（日本食育研究所）	11月21・22日
法人運営研究会（東京民間保育経営研究懇話会）	11月21日
乳児保育研究会（東京民間保育経営研究懇話会）	12月12日
法人運営研究会（東京民間保育経営研究懇話会）	2月22日
医師会と板橋区共催による保健勉強会	2月26日

3 施設管理

(1) 事務関係

①会計管理

経理規程に基づき、適正な会計処理、予算管理に努めた。30年度より、経理事務を会計事務所に委託し、園長と連携を取りながら実務を行ってきた。物品購入の際は、見積り合わせ、品物の品質検討、吟味を行うよう心掛け、重要度、緊急度の高いものから順番に購入するようにした。

計算書類、帳票の調製、証憑の整理などは、会計事務所の協力も得て、従来までの水準を崩さないように管理することが出来た。

30年度より、保育料の納入が手渡しから銀行口座への振込になったことで、保育料集金事務の負担が格段に減少した。ただ、保護者の負担が、金銭面でも実務面でも増してしまったことを危惧する声も多く、今後は振込方法等の検討などが課題である。

②児童処遇事務（保育、給食、健康管理）

児童表、各種保育計画の管理は担任が行い、園長が点検指導を行った。

献立表、給食だよりの作成、栄養管理事務は非常勤栄養士が行った。

給食日誌、給食日報、食材各種伝票の管理は調理師が行った。

園児出席簿、緊急連絡簿、契約書など、その他の事務書類の管理は園長が行った。

(2) 設備・備品関係（主な購入品等）

【保育関係】

- ・壁掛け扇風機の購入と設置
- ・デジタル身長計

【給食室関係】

- ・ガスコンロ

【その他】

- ・園名板設置

(3) 災害対策

①避難訓練

毎月1回行った。

②防災設備の点検

年2回行った（内、届け出1回）。

③非常食糧の備蓄

非常食（アルファ米、レトルト食品 15人分）と、保存用水1.5ℓ×6本の備蓄品の点検を行い、保管場所は302号室に保管した。

4 特別保育事業

(1) 地域活動推進事業

①地域交流行事

7月13日実施の「夕涼み会」は約100人が参加した。ご近所の子育て世帯の方や、高齢世帯の方々に招待券を配布し喜ばれた。

日常的にも戸外活動の際には近所の商店や、一般家庭の方々に積極的に声をかけ、良好なコミュニケーションを心がけた。地域の方から声をかけてもらったり、お庭のお野菜やお花、メダカや金魚を見せてもらったり、良好なふれあい活動を行った。

②小中高校生保育体験

小中学生や高校生（主に卒園児）が、子育てや家庭の大切さを理解できるよう乳幼児とふれあう場作りを行った。参加者には貴重な体験ができたと喜んでもらった。のべ32人参加した。

④ 保育園体験

地域の子育て世帯に掲示板やチラシなどで呼びかけを行い保育園の生活を親子で体験してもらう取り組みを行った。保育園への入園を考えている世帯中心に親子でリズムを見学したり、うた遊びや赤ちゃん体操の体験をしてもらい、とても好評だった。

5 理事会

理事会活動報告

日時	名称	参加者	内容
30年4月14日	理事会		60歳以降の働き方について
30年5月19日	理事会		現況報告、事業報告書について、収支決算について、新理事選出、理事長交代について、社員総会について
30年6月15日	社員総会		29年度事業報告、30年度事業計画、29年度収支決算、30年度収支予算などの討議を行った。 新理事の紹介、[]の退任の挨拶を行った。
30年6月15日	理事会		新理事長の選出を行った。
30年6月21日	理事会		役員変更に伴う確認事項について、借り上げ住宅制度について、その他
30年9月25日	理事会		会計事務所に引継後の報告、中退金の件、借り上げ住宅の件、玄関オートロック故障の件、50周年の件、鍵の管理の件、他

31年3月27日	理事会		事業計画書、当初予算書、土曜日代休制の提案、介護休暇等利用について、育児介護休暇制度変更について、他
----------	-----	--	--

上記活動の他に [redacted] と [redacted] の打合せは随時行った。

昨年度6月の総会で理事長が辞任し、新理事長を新たに選出した。

不安が広がることの無いように、また、実務が滞ってしまったり、大事な懸案事項が停滞してしまうことがないように、定例理事会の他に臨時理事会の開催、理事長と園長の打ち合わせを行うなどして理事会機能の維持に努めてきた。

保育園設立50周年であることも受け、保育園職員との懇談の場をつくってこれまでの歩みを振り返った。

小さな法人ではあるが設立の趣旨を忘れずに原則的かつ機能的な活動を心掛け、園の職員と力を合わせてあずさわ保育園を守り発展させていきたい。

平成30年度(2018年度)

自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日

活動計算書

貸借対照表

財務諸表の注記

財産目録

NPO法人たち あずさわ保育園

法人名： NPO法人たち あずさわ保育園

活動計算書

平成30年 4月 1日 ~ 平成31年 3月 31日 まで

(単位:円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 運営費		49,943,940	
2. 補助金		6,550,370	
3. 保育料		6,077,940	
4. その他収益			
受取利息		257	
雑収益		161,240	
経常収益計			62,733,747
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
給料手当	22,692,955		
賞与	8,672,760		
非常勤給与	11,420,669		
非常勤賞与	3,028,204		
法定福利費	6,939,171		
退職給付費用	1,306,253		
福利厚生費	399,543		
人件費計	54,459,555		
(2)その他経費			
旅費交通費	97,755		
研修費	96,012		
消耗品費	345,507		
地代家賃	3,540,000		
水道光熱費	592,083		
給食費	1,761,910		
保健衛生費	258,267		
保育材料費	123,234		
事業雑費	246,232		
その他経費計	7,061,000		
事業費計		61,520,555	
2. 管理費			
(1)人件費			
人件費計	0		
(2)その他経費			
旅費交通費	57,230		
消耗品費	269,258		
地代家賃	494,667		
印刷製本費	105,572		
修繕費	45,360		
通信費	151,000		
会議費	2,000		
支払手数料	52,676		
損害保険料	54,910		
水道光熱費	62,265		
管理諸費	625,320		
諸会費	20,000		
賃借料	194,400		
保険料	14,125		
租税公課	3,188		
発送配達費	2,522		
雑費	418,301		
その他経費計	2,572,794		
管理費計		2,572,794	
経常費用計			64,093,349
当期正味財産増減額			△ 1,359,602
前期繰越正味財産額			10,433,637
次期繰越正味財産額			9,074,035

法人名： NPO法人たち あずさわ保育園

貸借対照表

平成31年 3月 31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	11,124,027		
未収入金	185,040		
流動資産合計		11,309,067	
2. 固定資産			
敷金	90,000		
長期前払費用	49,333		
固定資産合計		139,333	
資産合計			11,448,400
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,352,376		
預り金	1,021,989		
流動負債合計		2,374,365	
負債合計			2,374,365
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		10,433,637	
当期正味財産増減額		△ 1,359,602	
正味財産合計			9,074,035
負債及び正味財産合計			11,448,400

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

法人名： NPO法人たち あずさわ保育園

財産目録

平成31年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	7,507		
普通預金 東京信用金庫志村支店	3,619,539		
普通預金 東京信用金庫志村支店	996,981		
定期預金 東京信用金庫志村支店	6,500,000		
未収入金			
板橋区運営費	16,200		
卒園進級式に関わる費用保護者負担分	103,560		
保育料未収分	65,280		
流動資産合計		11,309,067	
2. 固定資産			
敷金			
ハイムアズマ302号室	90,000		
長期前払費用			
ハイムアズマ302号室保険料	14,000		
職員住居更新料	35,333		
固定資産合計		139,333	
資産合計			11,448,400
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
社会保険料 事業主負担分(2月、3月、賞与)	1,003,061		
正規職員5名 時間外手当(3/16~3/31分)	177,322		
小原青果店他6件	171,993		
預り金			
社会保険料 個人負担分(2月、3月、賞与)	1,021,989		
流動負債合計		2,374,365	
負債合計			2,374,365
正味財産			9,074,035

資金収支計算書

(自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)

NPO法人たち あずさわ保育園

【収入の部】

(単位:円)

勘定科目	当期残高	備考
運営費収入 (内保育料収入)	56,021,880 (6,077,940)	
区補助金収入 (キャリアアップ補助金)	6,550,370 (4,683,000)	
(サービス推進費)	(1,450,000)	
(板橋区職員借り上げ支援事業補助金)	(417,370)	
雑収入	161,240	
受取利息	257	
収入の部合計	62,733,747	

【支出の部】

勘定科目	当期残高	備考
職員俸給	17,343,000	正規職員6名
役職手当	744,000	
時差勤務手当	96,500	
通勤手当	719,700	
時間外手当	2,223,755	
リーダーサプリーダー手当(加算Ⅱ)	1,566,000	内 永年勤続祝金3万
期末手当(夏冬賞与)	6,029,000	
期末手当(キャリアアップ)	2,643,760	
正規職員小計	31,365,715	平均年収529万円
非常勤給与	11,420,669	
非・期末手当(夏冬賞与)	1,566,562	
非・期末手当(キャリアアップ)	1,461,642	
非常勤職員小計	14,448,873	
退職給付費用	1,306,253	
法定福利費	6,939,171	
福利厚生費	399,543	検便代、健康診断料、インフルエンザ予防接種補助金、歓迎会忘年会補助、卒園祝う会弁当代他
人件費小計	54,459,555	人件費費率86.8%

【支出の部】

勘定科目	当期残高	備考
旅費交通費	97,755	
研修費	96,012	
消耗品費	345,507	扇風機、デジタル身長計、給食室消耗品、ガスコンロ、保育室家具他
地代家賃	3,540,000	1階、3階家賃
水道光熱費	592,083	
給食費	1,761,910	
保健衛生費	258,267	園児健診代、絆創膏他
保育材料費	123,234	保育用品、教材他
事業雑費	246,232	夕涼み会費用、遠足夕涼代、卒園進級お祝い会費用、文集印刷他
事業費小計	7,061,000	
旅費交通費	57,230	
消耗品費	269,258	
地代家賃	494,667	職員住居
印刷製本費	105,572	コピー機カウンター料
修繕費	45,360	引戸・戸車取替工事
通信費	151,000	郵便代、電話代、インターネット使用料
会議費	2,000	業者打合せ
支払手数料	52,676	振込手数料、各種証明発行手数料
損害保険料	54,910	
水道光熱費	62,265	職員休憩室電気、水道代
管理諸費	625,320	会計、給与計算顧問料
諸会費	20,000	東京民間保育園研究懇話会会費
賃借料	194,400	コピー機リース料
保険料	14,125	
租税公課	3,188	収入印紙、預金利息(源泉税分)
発送配達費	2,522	宅急便運賃
雑費	418,301	ゴミ処理券、理事会費用、園名板工事費用他
管理費小計	2,572,794	
支出の部合計	64,093,349	
当期資金収支差額	△ 1,359,602	(収入の部合計－支出の部合計)
前期末支払資金残高	10,433,637	
当期末支払資金残高	9,074,035	

2018年度年間役員名簿 （前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人たち

1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

- 以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）
各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

2 役員一覧

	役名 どちらかに○	(フリガナ)	住所又は居所	前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)	
		氏名				
1	○理事・監事	ワダ ユウ	[REDACTED]	2018年6月15日 ～ 2019年3月31日	年 月 日	
		和田 悠			年 月 日	
2	○理事・監事	ニシムラ アキコ		2018年4月1日 ～ 2019年3月31日	年 月 日	
		西村 章子			年 月 日	
3	○理事・監事	イトウ ヤスコ		2018年4月1日 ～ 2019年3月31日	年 月 日	
		伊東 靖子			年 月 日	
4	理事 ○監事	カクタ ヤヨイ		2018年4月1日 ～ 2019年3月31日	年 月 日	
		角田 弥生			年 月 日	
5	理事・監事				年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日
6	理事・監事				年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日
7	理事・監事			年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日	
8	理事・監事			年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日	
9	理事・監事			年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日	
10	理事・監事			年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日	

社員名簿 (社員のうち10人以上の者の名簿)

特定非営利活動法人たち

	氏 名	住 所 又 は 居 所
1	和田 悠	[Redacted]
2	西村 章子	
3	伊東 靖子	
4	角田 弥生	
5	松元 郁子	
6	春日井 明美	
7	藤原 さおり	
8	本田 智子	
9	金子 恵子	
10	松栄 優子	
11		
12		